



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3542-5151
担当者の所属・氏名：心臓血管外科・玉木理仁

【研究責任者】

聖路加国際病院 心臓血管外科 玉木理仁

ロボット支援下心臓手術を受けられた方を対象とした

手術者の役割分担に関する研究

1.研究の対象

当院で2019年1月から2024年8月までにロボット支援下心臓手術を受けられた方。

2.研究の目的・方法

ロボット支援下心臓手術においては、実際にロボットを操作するコンソール術者(図1)と患者さんの手術台の横で手技を行うペイシェントサイド術者(図2)の2名の働きで手術が成り立っています。ロボット操作を開始するタイミングまでコンソール術者がペイシェントサイド術者として手技を行う病院もありますが、手技が煩雑になることや、実際にロボット操作中のペイシェントサイド術者の習熟度が上がらないなどの問題点があります。当院では症例数を重ね、2022年7月より、コンソール術者とペイシェントサイド術者がそれぞれ独立して手術を行うことが可能となりました。これに伴い、ペイシェントサイド術者側は基本的な小開胸手技の経験が増え、コンソール術者側は心臓手技のみに従事できることで、手技の効率化とそれぞれの熟達度の上昇が見込めると考えられています。本研究では、それぞれの術者の独立以前との比較調査を行い、手術と術後経過について確認することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年10月28日を予定しております。

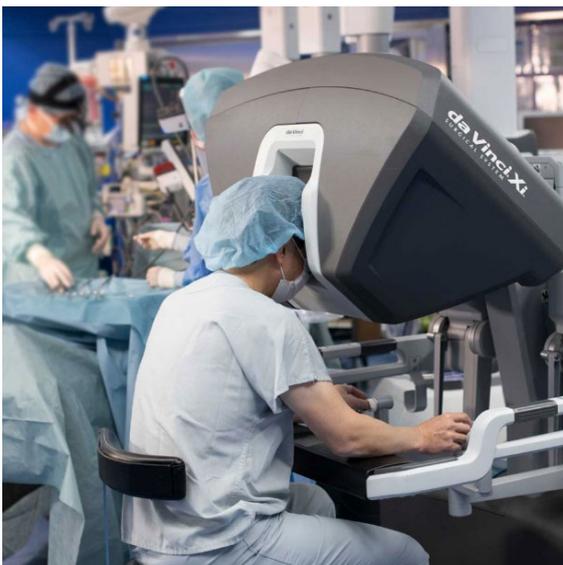


図1：コンソール(操作台)術者

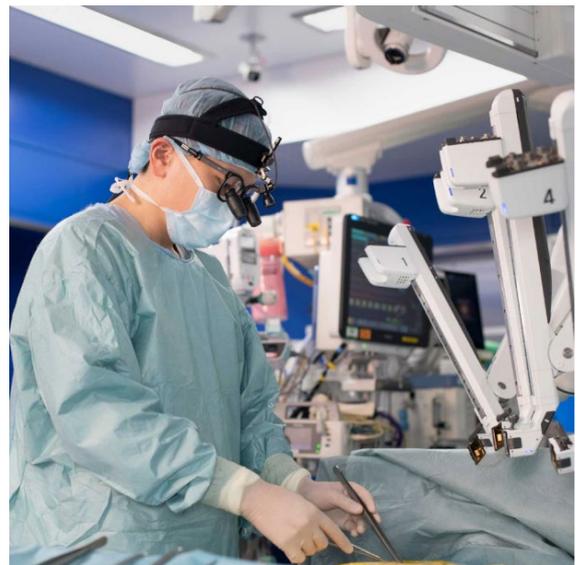


図2：ペイシェント(患者)サイド術者

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、心臓超音波検査の結果、CT検査の結果、採血検査の結果、手術時の所見、合併症等の発生状況、カルテ番号 等